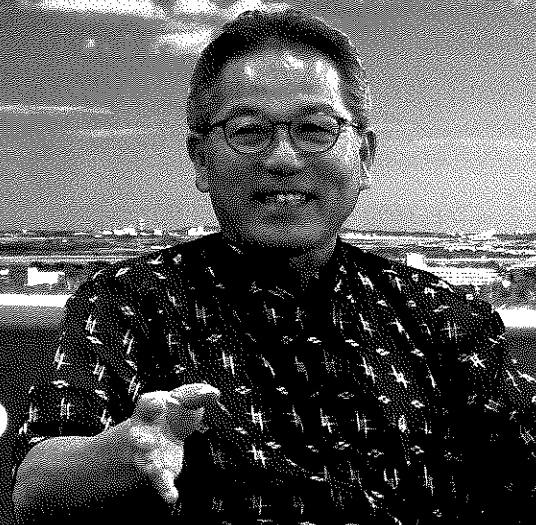


沖縄県議会活動報告

沖縄県議会議員
会派ていーだネット

國 仲 昌 二



宮古島市、多良間村の皆さん、ソーナ、ゾーカー、ウランマ（皆さん、お元気ですか）沖縄県議会議員の國仲昌二です。

県議会での1年間の活動を、6月、9月、12月、2月の各定例会を中心にまとめました。

宮古選出の県議会議員として、今後とも宮古のために、議員活動、議会活動に一生懸命取り組む所存です。これからもよろしくお願いいたします。





令和2年6月 沖縄県議会定例会

代表質問要旨

質問

誰一人取り残さない、沖縄らしい優しい社会の構築に向けた政策の推進を目的に設置した、SDGsに関する万国津梁会議の取組状況についてお伺いします。

答弁

SDGsに関する万国津梁会議には、沖縄らしいSDGsをテーマに議論をいただき、3月に中間報告がなされました。今年度は沖縄らしいSDGsの共通理念や施策等を議論した上で、最終的な提言を12月頃をめどに取りまとめるようでございます。沖縄県としましては、SDGsの理念や成果指標を新たな振興計画の骨子案に盛り込み、誰一人取り残さない社会の実現に向けて取り組んでいきたいと考えております。

質問

新型コロナウイルスの影響について、宮古や八重山の医療機関でPCR検査が実施できることが可能になるのはいつ頃を想定しているのかお伺いします。

答弁

6月から宮古病院及び八重山病院においてPCR検査機器が導入されたことにより、島内でも検査が完結できるよう体制整備されたところで。

質問

宮古病院の感染者に対応する病床は、4月の時点でわずか3床しかないと報道され、市民の間に不安が広がりました。今後、集団感染の発生などで病床数が不足した場合にはどのように対応するのかお伺いします。

答弁

病床の確保数につきましては、第2波の流行に備え、集団感染発生も含めたピーク時の感染者数の推計を行い、各圏域ごとの状況を踏まえた病床確保計画につきましても7月末までに策定して対応することとしております。

質問

旅行者専用相談センター沖縄(TACO)については宮古空港、石垣空港には分室設置を検討しているようです。いつ頃を予定しているのかお伺いします。

答弁

水際対策は極めて重要であり、特に県外からの直行便を有する離島空港へのTACOの設置は早急に進める必要があります。現在、地元自治体や県出先機関と意見交換を進めており、各離島における医療提供体制等に応じた取組を早急に進めてまいります。

質問

新型コロナウイルス感染症による長期休校で、学習についていけないといった不安や、生活リズムが崩れた子供、一人で部屋に籠もっていた子供などに登校ストレスが生じているという声があります。また、教職員も遅れている授業の進め方や感染予防のための衛生面の管理の対応に追われるなど心理的負担が指摘されております。現在、県が把握している課題、そして今後の対応策についてお伺いします。

答弁

学校においては、学級担任や養護教諭等により、児童生徒の状況の把握や健康相談等の実施、スクールカウンセラー、スクールソーシャルワーカー等が連携し、生徒の心のケアに努めております。教職員へは関係機関と連携しながら心理的負担の解消に努めたいと考えております。

質問

イージス・アショアについては技術的な問題でコストと時間がかかることから配備計画は停止となりましたが、同様な問題を抱える辺野古新基地建設は強行するという政府の姿勢は理解できません。知事のご見解をお聞かせください。

答弁

県としましては、政府に対して、相当なコストと期間を要する辺野古新基地建設計画についても計画を断念し、普天間飛行場の速やかな運用停止を含む一日も早い危険性の除去を実現するため、県との真摯な対話に応じることを強く求めてまいります。

質問

イージス・アショア配備断念の理由には、民家に隣接していることや地元の住民の強い反対があります。宮古や八重山への駐屯地配備、弾薬庫建設についても安全性に対する不安があり、地元の住民の強い反対もある。私はイージス・アショア配備同様、断念すべきと考えますが、知事のご見解をお伺いします。

答弁

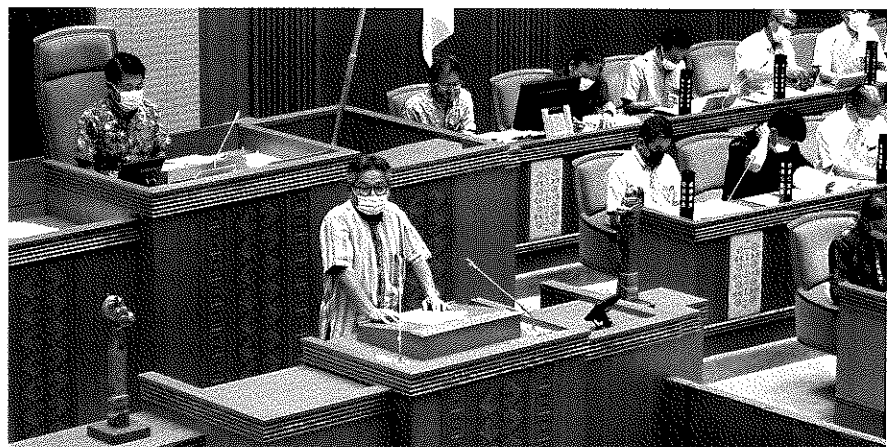
自衛隊の島嶼配備については、我が国の安全保障や地域の振興、住民生活への影響をめぐって、必ずしも十分に住民合意が得られているとは言い難い状況の中で工事が進められております。県としては、政府に対して地元の理解と協力が得られるよう、十分な情報開示を行うなど、より一層丁寧に説明を行うとともに、配備スケジュールありきで物事を進めることがないよう、引き続き求めてまいります。

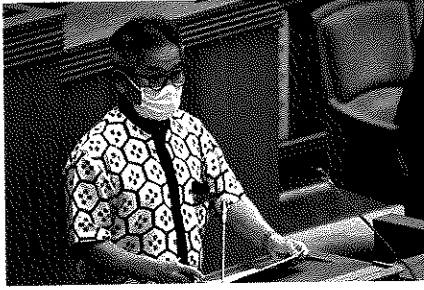
質問

沖縄の場合、気候や地形、土壌の性質などに加え、農業や民間・公共開発事業による土地の変革行為などを要因として赤土等が流出すると言われており、自然環境に悪影響を及ぼすものです。赤土等対策について伺います。また、宮古島市の真那津地区、真謝漁港の海岸で赤土等流出が確認されております。県の対応はどのようになっているのかお伺いします。

答弁

県は、平成7年に沖縄県赤土等流出防止条例を施行し、対策に取り組んだ結果、県全体の赤土等流出量は、条例施行前と比べて、平成28年度時点で約5割削減されました。さらに、平成25年に沖縄県赤土等流出防止対策基本計画を策定し、総合的・計画的に対策を進めているところであります。宮古保健所管内については、昨年度、赤土等流出防止条例に基づく通知、届出が203件あり、必要に応じて対策の強化を指示しております。引き続き赤土等の流出防止に取り組んでまいります。





令和2年9月 沖縄県議会定例会

一般質問要旨

質問

令和元年度の決算について伺います。今回提出されている決算審査意見書では、財政力指数や自主財源の割合は九州平均や全国平均を下回り、地方交付税や国庫支出金に依存する脆弱な財政構造です。県の認識をお伺いします。

答弁

人件費や社会保障費関係費など義務的経費の増加が要因で、経常収支比率が1.4ポイント増加し97.1%と硬直化が進んでいます。県としては行政運営プログラムに基づく行財政改革を着実に実施してバランスの取れた行財政運営に努めたいと考えております。

質問

県税など自主財源の収入が前年度比で約51億円の増となっているが、一方で単年度収支が赤字になっている。要因は何でしょうか。

答弁

県税収入は47億円の増で当時の好調さを表している。ただ、単年度収支の11億円の赤字の主な要因は税収の伸び以上に人件費や社会保障関係費など経常経費の増によるものです。

質問

現在のコロナ禍でかなり県税など収入額の減が予想されますが、来年度以降の財政運営についての考えをお伺いします。

答弁

今年度も県税の収入についてはかなり厳しく、来年度はさらに厳しくなると考えています。このコロナ禍の収入源は47都道府県どこも共通しているの、全国知事会と連携して地方財政措置を求めているところです。

質問

下地島空港の軍事利用について、いわゆる屋良覚書というのは、1. 下地島パイロット訓練飛行場の使用方法は管理者である琉球政府、復帰後は沖縄県が決定する。2. 国としては民間航空訓練及び民間航空以外の目的に使用させることを管理者である琉球政府、復帰後は沖縄県に命令する法令上の根拠を有しないというものです。知事の認識をお伺いします。

答弁

下地島空港の使用方法については、いわゆる屋良覚書及び西銘確認書において、やむを得ない事情がある場合を除いて、民間航空機に使用させる方針であることが確認されており、沖縄県としては、この確認文書は尊重されるべきものと考えております。

質問

下地島宇宙港事業についてですが、民間事業者から提案されていた下地島宇宙港事業について、県が基本合意をしたとのことですが、基本合意締結までの経緯についてお伺いします。

答弁

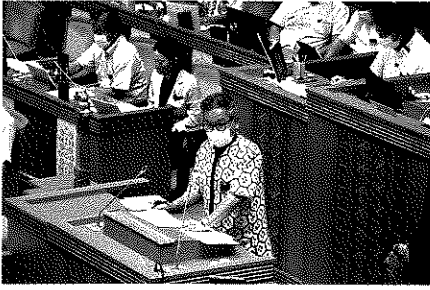
県では、平成30年3月に第2期利活用事業の候補事業を選定し、提案者であるPDエアロスペース株式会社と条件協議を行ってきました。本事業については無人宇宙機の法的整理がなされたことから、事業実施が可能と判断し、基本合意締結に至っております。

質問

下地島宇宙港事業は、下地島空港を宇宙港として活用し、一般向けに宇宙旅行を提供する事業ということですが、具体的にはどのような宇宙旅行を行うのかお伺いします。

答弁

サブオービタル飛行というもので、ジェット燃料で航空機と同じように飛び立って、高度15kmからロケット燃料に切り替えて垂直に上昇するそうです。そして高度50kmでエンジンを停止して、そのままの勢いで高度100kmに達する。そして戻ってくる。これで90分ということでございます。



質問

辺野古新基地建設の設計変更ですが、行政法の専門家の意見として、反対意見が7割を超えた県民投票の結果を踏まえれば、知事の変更を許可することはあり得ない、許可の裁量権は知事にあり、工事がとん挫する可能性は少なくない、との指摘があります。知事の見解をお伺いします。

答弁

沖縄防衛局から提出のあった公有水面埋立変更承認申請書については地元で意見照会を行うとともに、必要に応じて地盤データの資料要求を行い、疑問点については確認を行うなど厳正に審査を行います。

質問

辺野古の埋立用土砂を離島を含む県内7地域から採取するというので、宮古や石垣からも調達するとのことですが、宮古の採取場所、採取量についてお伺いします。

答弁

提出された公有水面埋立変更承認申請書では、埋立土砂等の採取場所として県内7か所、県外11地区が記載されております。県としては今後の内容審査にあたって、土砂等の採取及び運搬において、生活環境への悪影響等について十分配慮された対策がとられているか厳正に審査することにしております。

質問

宮古広域公園について、今回の事業認可までの経過、総事業費や工事期間及び施設整備など事業の全体像についてお伺いします。

答弁

宮古広域公園については、平成15年に宮古市町村会など宮古関係7団体から要請を受け、調査検討を進めてまいりました。令和2年4月に都市計画決定し、去る7月1日に事業認可を取得したところであります。総事業費は78億円、工事期間は14年間を見込んでおります。基本計画では、主な施設整備として海浜保全・活用や海辺の森保全・活用など5つのゾーンを設定しております。地元宮古島市と連携しながら早期整備に向けて取り組んでまいります。

質問

伊良部大橋橋詰広場のトイレは来年3月に供用開始するとのことですが、事業の概要についてお伺いします。

答弁

伊良部大橋橋詰広場のトイレ新築工事は、年度内完了を目指して整備を進めてまいります。第一第二駐車場の近くにそれぞれ配置し、景観やバリアフリーに配慮した施設内容となっております。

質問

小・中・高の教員選考試験の一次試験は筆記試験のみとお聞きしておりますが、試験は沖縄本島のみで行われていません。離島の学校現場で補充教員として働く皆さんは試験日が7月中旬という1学期の多忙な時期と重なり、航空運賃の負担や台風によるスケジュール変更など精神的、経済的負担が大きく、本島の受験生と比べて不利と言われます。宮古や八重山など離島で一次試験を行うことはできないかお伺いします。

答弁

教員候補者選考試験は30種類以上の試験区分やリスニング試験等の環境を同一に揃える必要があることから、公平公正を期すため校種・教科ごとに県立学校5会場で実施しているところであります。離島での試験実施についてですが、例えば一部地域に台風が来襲した場合、同じ問題を使用するすべての会場の試験を延期することとなり、受験者全体に大きな影響があることから、可能な限り試験会場は集約せざるを得ないと考えております。



令和3年2月 沖縄県議会定例会

一般質問要旨

質問

那覇空港でPCR検査を行っているが、離島空港でのPCR検査の実施はどう考えているのか。また、那覇空港から離島行き検査対象者の範囲についてお伺いします。

答弁

県では県外からの来訪者に対し、事前の検査を推奨しているところではありますが、やむを得ず検査を受けられない場合は、那覇空港において希望者のPCR検査を実施しております。また、那覇空港から離島へ向かうすべての方を対象としたところです。離島空港でのPCR検査は課題がありまして、検討中です。

質問

宮古病院が一時、一般外来が閉鎖に追い込まれるほど入院病床が逼迫したため、ある施設では入所者や職員のクラスターが発生したけれど、施設内にとどまって療養を実施しなければならず、苛酷な状況に追い込まれてかなり精神的に追い込まれたとのこと。こういった職員たちに県として何らかの支援策というのはないのかお伺いします。

答弁

医師や看護師がなかなか家には戻れないというような場合を想定しホテル宿泊に対する支援については、事業化をして行っているところでございます。精神的な負担についても、メンタルの相談ができる体制を取っております。

質問

現在、県が想定しているワクチン接種のスケジュールと小規模離島におけるワクチン接種の取り組みについてお伺いします。

答弁

小規模離島につきましては、クラスター対策及び医療崩壊を防ぐために、地域の実情に合わせた柔軟な対応ができるよう国と調整を図っているところです。沖縄県としましては、ワクチン接種が円滑に進められるよう市町村及び医師会をはじめ関係医療団体と連携し、万全な体制で取り組んでまいります。

質問

民間で格安のPCR検査センターなど手軽に検査できる施設を活用すれば検査がさらに充実するのではないかと考えますが、いかがでしょうか。お伺いします。

答弁

民間の検査機関により、広く希望者が検査を受検できるようになっておりますが、検査結果については、再度の受診や検査が必要になる場合もあります。県としましては陽性となった場合は、確実に医療機関へつなげるよう検査センター等へ要請するとともに、県民の皆様には検査の内容をよく御確認の上、検査を受検してもらいたいと考えております。

質問

コロナ禍における経済対策については、時短要請協力金について全国知事会を通して国に要請している旨の答弁があったとのことですが、その要請の内容についてお伺いします。

答弁

国や県独自の緊急事態宣言による経済的影響を受ける県内事業者への支援を行うため、県独自で或いは全国知事会等を通じて国に対し国の緊急事態宣言地域と同等の支援を行うことなどの要請を繰り返し行ってきたところ、国の一時支援金について、県内でも旅客運送事業者、宿泊事業者、土産物小売店、旅行代理店、イベント事業者等が対象となり得ることとなったことから、県としても国及び市町村等と連携を図りながら、これらの事業者への周知及び活用に向けた県独自の相談、サポート体制の整備に向け調整を進めております。なお、昨年12月以降の時短要請に係る協力金は、国の臨時交付金の協力要請推進枠の活用を前提としておりますが、これは会食等による感染拡大リスクを徹底的に抑えることを目的として時短要請対象が飲食店等に限定されております。

質問

コロナ感染について「G o T oトラベルはリスクは小さい、影響は全くない」としてG o T oトラベル再開に期待する声がある一方、「G o T oトラベルを機に感染者は全国的に飛び火し、特に沖縄県は顕著である」との意見もあります。県の見解をお伺いします。

答弁

感染拡大地域との往来は、本県の感染拡大の要因の一つと考えておりますが、G o T oトラベル事業の影響について詳細に分析することは困難であります。

質問

教職員に対する人事評価制度について、教育委員会としてはどのような課題があると考えているのでしょうかお伺いします。

答弁

公立学校においては人事評価を実施しておりますが、公正公平な人事評価を円滑に実施するためには、評価者及び被評価者の制度に対する理解が必要と考えており、引き続き研修の充実等を図り、制度に対する理解の促進に努めてまいります。

質問

学校現場からは「評価者が主観的に評価する危険性が拭えない」「評価や賃金に差が出てひがみ妬みが増え、職員間の協働体制や信頼関係が薄れた」「人事評価制度の導入で職場が活性化するのはあり得ない」というような厳しい声もあります。教育委員会としてはどう受け止めて今後どう取り組んでいくのかお伺いします。

答弁

公平公正な人事評価を行うためには、評価する側、評価される側がその制度を十分理解することが重要だと思い、研修の充実を図っております。あわせて様々な声、苦情処理のような仕組みも準備しており、一方で職員団体等からもしっかり声を聞きたいと思っています。

質問

伊良部高校は、37年間の歴史に終止符を打って今年度で廃校になりますが、その跡地利用についての考えをお伺いします。

答弁

伊良部高校の跡地及び施設の利活用について、教育庁各課、県各部局、宮古島市へ照会を行っております。跡地利用については地元へ寄与できる利用のあり方が望ましいと考え、宮古島市の意向も確認しながら検討していきたいと考えております。

質問

ワーケーション事業について県としてどのように取り組んでいるのかお伺いします。

答弁

今年度は、沖縄ならではのモデルプランの造成等を実施しております。次年度は、造成したモデルプランを活用して関係者やメディアを招聘するなど、ワーケーションの誘致促進につなげたいと考えております。

質問

宮古馬の保存についてお伺いいたします。
宮古馬は8種の日本在来馬の一つで、1991年に沖縄県の天然記念物に指定されています。
宮古馬の保存事業に対する県の取り組みについてお伺いします。

答弁

現在、宮古馬保存馬環境整備事業で173万2000円の補助をしています。次年度もこの施設の整備に向けた補助を計上しているところでして、県としましても宮古島教育委員会としっかり連携して保存に取り組んでいきたいと考えています。

質問

外来種のイノシシ、クジャクが繁殖し、農作物に被害を与えており、宮古島市も対策に苦慮しています。駆除を行う市町村への県の支援策はあるのかお伺いします。

答弁

具体的な支援策として①市町村協議会等が主体となった銃器・捕獲箱によるイノシシ等の有害鳥獣捕獲②クジャク等の捕獲頭数に応じた助成などがあります。また、駆除・捕獲したイノシシやクジャクの肉の活用についても①ジビエ処理加工施設の整備②ジビエ処理加工等の技術者育成③ジビエ消費拡大を図るための流通業者との連携による販売促進などの支援策があります。

質問

多良間島で新種の甲殻類が発見され「タラマメアミ」と命名され、また伊良部島ではジュゴンのほみ跡と見られる痕跡が確認されました。県としての調査協力等についてお伺いします。

答弁

「タラマメアミ」については、専門家に話を伺ったところ、調査費の支援や発見現場の保護について助言等があったことから今後、対応を検討してまいります。伊良部島については目撃情報を受け県と環境省で調整し、緊急調査を行っておりまして、引き続き環境省と連携し、ジュゴンの調査に取り組んでまいります。



乙第38号議案 「副知事の選任について」に 対する賛成討論

乙第38号議案 副知事の選任について 賛成の立場から討論いたします。

今回の副知事の提案は富川副知事の任期満了に伴うものであります。

提案されている照屋義実氏は長く経済界で活躍され、沖縄県建設業協会会長や沖縄県商工会連合会会長等を歴任されたほか、沖縄県教育委員会教育長や沖縄県政策参与を務めており、豊富な知識や経験から副知事として適任であるとして提案されております。

先日の一般質問等で「沖縄県建設業の談合問題について疑念がある」旨の質問がありましたが、この件については、県議会において調停案の同意議決を経て調停が成立しており、全く問題はありません。

また「マスコミでの発言が虚偽ではないか」との指摘もありましたが、県として確認したところ「虚偽ではない」旨が

確認され、また、欠格事項にも全く該当しない旨の説明があり、これについても全く問題はありません。

そのほか、いろいろな指摘がありますが、これらのことについても、私は全く問題はないものと考えております。

照屋義実氏には、これまでの民間企業経営に携わった実務経験を生かして、コロナ禍で厳しい状況にある県経済の回復、中小企業・小規模事業者の再生、各産業分野における施策の推進、本県の振興・発展に寄与することが期待でき、また、これまで政策参与として、しまくとぅばや空手など沖縄県民に寄り添う伝統文化の保存継承に取り組んでおり、誰一人取り残さない、誇りある豊かな沖縄の実現を目指す玉城デニー知事を支える副知事として、県民からも大きな期待が寄せられており、最適任者だと考え、賛成の討論とします。

議員各位のご賛同をよろしくお願いいたします。

視察

「会派ていーだネット」は令和2年10月29日に南城市の児童養護施設「島添の丘」、「沖縄県動物愛護管理センター」、八重瀬町の「八重瀬町種苗センター」、翌30日にうるま市の「ゆがふ製糖株式会社」、そして沖縄コンベンションセンターで開催された「ResorTech Okinawa (リゾテック沖縄) おきなわ国際IT見本市2020」を視察しました。

宮古島市の「下地島空港」や「宮古病院」なども視察を予定していましたが、コロナ禍で日程調整が難しく実施できませんでした。



児童養護施設『島添の丘』



ゆがふ製糖株式会社



児童養護施設『島添の丘』



ゆがふ製糖株式会社



八重瀬町種苗センター



おきなわ国際IT見本市2020



おきなわ国際IT見本市2020



新型コロナウイルスへの対応などを質問した
國仲昌二氏=8日、県議会議員

県議会6月定例会

PCR検査、宮古で可能に

國仲昌二氏に知事が答弁

【那覇支社】開会中の県議会（赤嶺幹長）6月定例会は代表質問の目録の8日、宮古選出の國仲昌二氏（ていだネット）が発議し、新型コロナウイルス感染症の影響などについて質問した。宮古地区の医療機関でのPCR検査実施について、玉城デニー知事は「10月から宮古病院でPCR検査機器が導入され、島内でも検査がスタートできる体制が整備された」と説明した。

また、玉城知事は「宮古地区でPCR検査の検体を採取できる医療機関は力所。今後、検体採取が可能な検体協力医療機関を拡大していく」と語った。

このほか、宮古空港への旅行者専用相談センター（T.A.C.O）分室設置について、宮古空港には「外直行便のある離島空港への設置は早急に必要な機器と費用交換を進めており、離島の医療提供体制等に合わせた取り組みを早急に進めている」と説明した。

國仲氏は「政府のリース・スポンジア配備断念に関して」「宮古、八重山への自衛隊配備、弾薬庫建設も民間に譲渡し、危険性が指摘されており、住民の強い反対もある。断念すべきではないか」と強調した。

これに対し、金城賢知事公室長は「司令部防衛相はリース・アシニアについて、プースターを演習場内や海上に確実に落下させる改修費用や期間を考慮すると合理的ではない」とした。県としては、宮古・八重山の自衛隊基地に配備が予定されている地对艦誘導弾にもプースターがあること、十分確認する必要があると述べている」と述べた。

新型コロナウイルス感染症拡大防止のための長期休業による教育課程の遅れを踏まえた今年度高校入試等の対応について、金城弘昌教育長は「各学校で夏季休業等の短縮等により授業日数の確保を行っているが、第2波による休校も想定し、各中学校の意向調査を行い、高校入試の出題範囲や日程等を検討している」と述べた。

記者のミモ

県議会で宮古言葉PR



○県議に立憲し、初の定例会に臨んだ國仲昌二県議（ていだネット、宮古選出）。新人ながらも代表質問に立ち、質問の締めくくりに「タマシイカーテンディ（ありがたしんじまじまじ）とミヤークワツ（宮古言葉）も紹介PRした。宮古島市議時代は野党として市政を迫ってきたが、県議として玉城デニー知事を支える与党の立場に、「知事の公約の実現のために力を注ぐ」としつつも「行政におかしなところがあった場合は追及していく」。議員としての信念は揺るがない。

地対艦 誘導弾 ブースターを保持

県議会定例会

陸自宮古島配備予定

國仲氏が 県「安全対策確認」へ 代表質問

県議会6月定例会は8日、代表質問が行われた。防衛省が秋田、山口両県で予定していた地对艦誘導弾システム「リース・アシニア」の配備計画について、断念の理由がプースターを自衛隊演習場内または海上に確実に落下させられないことに関連し、金城賢知事公室長は宮古島市と石垣市の陸自自衛隊に配備予定の地对艦誘導弾（対艦対艦ミサイル）に保持されていることを明らかにし、「落下範囲や安全対策について十分に確認する必要がある」と述べた。宮古島選出の國仲昌二氏（ていだネット）に答弁した。

陸自配備に關連して金城 島診療所を含む機雷協力陸 空港へのT.A.C.Oの設置は公室長は「自衛隊の島」 置機を指示する予定。早急に進める必要があると配備は、我が国の安全保 6月からの宮古病院、八 認職している。地元自治体 障や地域復興、住民生活へ 軍山病院でPCR検査が導 は東出先機関と意見交換進 の影響をめぐり必ずしも 入れ、島内で検査が完結 めており、各離島における 住民合意が得られない状況 できる体制を整備された。 医療提供体制において取り 組みを早急に進めたい」と 県としては政府に対して地 又述べた。

また知事は、那覇空港に の姿勢を示した。

國連して大城玲子保健課 障部長は、新型コロナの集 団感染発生による病床数不 足への対応策で、「県におけ ケンネルありまで進める する県外直行便を有する 床確保は、第2波流行に

玉城デニー知事は、新型 コロナウイルス感染症の宮 古、石垣でのPCR検査に ついて「両地区で検体を採 取できる医療機関はそれぞれ 2カ所に設定されている。 今後は検体採取が可能な離 島にも増やす」と述べた。

県は8日、新型コロナウ で大城玲子保健課障部長が 明らかにした。感染が確認 されたのは中部保健所管内 在居の40代男性。県が感染 経路をたどる調査している。 同日午後にも県対策本部会 議を開催する。

69日ぶり感染者

県内の 中部の40代男性



國仲昌二氏

同日の県議会6月定例会

改めて軍事利用反対

一般質問 国仲氏に知事答弁

【那覇】沖縄県議会赤嶺幹事長の9月定例会で、一般質問最終となった。玉城知事への知事答弁は、地島空港の自衛隊利用の可能性について「屋良覚書」及び「西銘確認書」において「人命救助、緊急避難等特に行むを得ない事情を除いて、民間航空機に使用させる方針で管理運営する」と確認されていること、強調して「確認文書は尊重されるべきものと考へており、下地島空港の新たな活用検討においても、民間的な活用を検討を進めていく」と述べ、改めて軍事利用に反対する姿勢を示した。宮古島市区選出の国仲昌二氏（ていだネット）に答弁した。

「屋良覚書」「西銘確認書」を尊重

上原国土建設部長は、観覧台▽観光レクリエーション、宮古広域公園について「宮古島市と協力し、美しい海辺の景観や自然を守り育て、多様なレクリエーションを提供する公園をコンセプトに基本構想を策定後、基本設計及び環境影響評価を進めた」と結果、今年4月に都市計画決定、7月1日に国の事業認可を取得したことを報告した。

このほか、上原部長は伊長部大橋の橋詰め広場トイレ新築工事で、9月1日に工事契約を締結し、年度内の完成を目指し整備を進めると説明。「第1駐車場と第2駐車場の近くにそれぞれ

れ配置し、景観やバリアフリーに配慮した施設内容となる。整備により利用者の快適性、利便性向上が図られる」と述べた。

下地島空港に就航しているジェットスターの空港使用料で収入が伸びていることに関連し、上原部長は10月25日にスカイマークが下地島空港と羽田及び神戸、那覇の路線に就航することに伴い、1日当たり羽田と神戸が1往復、那覇が2往復することで空港使用料を1250万円見込んでいるとした。



国仲昌二氏

夢の宇宙旅行



記者席

○…県議会9月定例会一般質問で「宇宙旅行とはどんな旅行か」と熱心に尋ねた国仲昌二県議（ていだネット）。宮古島市の下地島空港を拠点とする宇宙旅行の計画について、県当局の答弁を補足するほど完璧な説明で議場を驚かせた。「遠い夢のような話が5年後に実現するかもしれない。地元の期待も大きい」と述べ、宇宙ビジネスの成功に向けて県の協力を改めて要望した。夢の宇宙旅行が実現したら、地元の期待も乗せて、真っ先に乗船してみたい？

新型コロナ対策など質問 一般質問に国仲氏登壇



県議会2月定例会一般質問に登壇する国仲昌二氏＝9日、県議会議場

【那覇支社】開会中の県議会（赤嶺幹事長）2月定例会で3日一般質問3日目は、宮古島市区選出の国仲昌二氏（ていだネット）を含む8人が登壇し、国仲氏は、新型コロナ対策について「クラスター対策」

「那覇支社」開会中の県議会（赤嶺幹事長）2月定例会で3日一般質問3日目は、宮古島市区選出の国仲昌二氏（ていだネット）を含む8人が登壇し、国仲氏は、新型コロナ対策について「クラスター対策」

また、国仲氏は「コロナ対策」が新型コロナウイルスの感染拡大にどのような影響を与えたかを質問した。大城部長は感染拡大地域の責任は本県の感染拡大の原因の一つであると考えているが、コロナ対策の影

や、医療崩壊を防ぐために高齢者と高齢者施設などの従事者、その他の住民の接種を同時期に行うなど、地域の実情に合わせた柔軟な対応ができるよう国と調整を図っている」と述べた。

国仲氏が、民間の検査機関で増えている安価なPCR検査について県の見解をたじたのに対し、大城知事県保健医療部長は「医療機関と連携し検査につなぐことができる検査のほかに、リストの有無のみを伝える検査もある」とした上で、「検査の内容をより正確にするため、検査を受けてほしい」と呼び掛けた。

伊良部高校の跡地利用の方針については金城弘昌県教育長が「地元で寄与できる利用のあり方が望ましい」と考へている。宮古島市の意向も確認しながら検討していきたいと応じた。

このほか、国仲氏は宮古島の農作物被害対策に関連して野生鳥獣肉（シビ）の活用推進支援を質問した。これには、長嶺豊農林水産部長が「シビ処理加工施設の整備や、処理加工の技術者の育成、シビの消費拡大を図るための流通業者の連携による販売促進」を進めると答弁した。

宮古愛あふれてる



記者席

○…連日夜まで続いた2月定例会一般質問で、「皆さんご機嫌いかがですか。大変お疲れだと思いますが、私の一般質問にお付き合いください」と、みや〜くふつ（宮古言葉）であいさつした国仲昌二県議（ていだネット）。取り上げたのは、県指定天然記念物の宮古馬の保全策や、多良間島で見つかった新種の甲殻類「タラマメアミ」の調査協力、伊良部高校の跡地利用など、宮古地域の話題のオンパレード。議場を「宮古愛」であふれさせることが使命かのように。

国仲昌二氏 経済経験生かす



ていだネット

民間経験生かす 経済施策に期待 今回の副知事提案は、川崎副知事の任期満了に伴う提案だ。照屋義美氏は、長く経済を活躍したほか、県政策参与を務めており豊富な知識や経験から副知事として適任であるとして提議した。

その他、いろいろ指摘はあるが、全く問題ないと考へている。照屋氏には民間での実務経験を生かし、コロナ禍で厳しい状況にある県経済の回復、中小企業・小規模事業者の再生、各産業分野での施策の推進、本県の振興発展に寄与する」とが期待できる。



國 仲 昌 二

Kuninaka Masaji

沖縄県議会（会派 ていーだネット）

- 総務企画委員会
- 新沖縄振興・公共交通ネットワーク特別委員会

（沖縄県議会）〒900-8501 沖縄県那覇市泉崎1-2-3

（会派室）502号会議室 電話098-866-2432 fax 098-866-3011

（居 室）504号室 電話098-866-2633

（宮古事務所）〒906-0012 沖縄県宮古島市平良字西里667-5 ネクスコート105号室

電話・fax 0980-72-7598（携帯電話）090-3075-8851 E-mail:youkiya_masaji@yahoo.co.jp